



## 森へおいでよ！パネル展 森のすばらしさをPR！

9月29日（土）～10月8日（月・祝）、北見市「緑のセンター」で、当センターと森林ボランティア「オホーツクの会」の共催により、「森へおいでよ！パネル展」を実施し、多くの来館者がありました。

当センターと「オホーツクの会」が、それぞれの活動の紹介や「オホーツクの森」に生きる動物たちや草花のパネルを展示するとともに、「オホーツクの会」の会員が作ったクラフト作品も展示し「オホーツクの森」をPRしました。



会員の手作りクラフト

また、10月6日～8日には、竹とんぼや枝笛作り、マツボックリ等を使った木エクラフト、緑ヶ丘公園の散策会等を行い、森林の役割やすばらしさをPRしました。

クラフト体験では「森にあるもので、こんなに楽しめるんですね。」「かわいいクマができました！良かったです。」「また、竹とんぼでは、「こんなに飛ぶんですね。おもしろいビックリです。」

等の感想がありました。

参加者の皆さんに、秋の一日をそれぞれ思い思いに楽しんでいただけたのではと思います。



## オホーツクの森林を学ぶ！ ～北海道森林ボランティア協会研修旅行～

9月17日(月・祝)NPO法人北海道森林ボランティア協会(札幌)の17名を「オホーツクの森」に案内しました。

これは、同協会が今後の活動に活かす目的の研修旅行(知床・阿寒他)の一環として訪問されたもので、当センターからは、2名が案内・協力しました。



まず、はじめに、能取湖や網走湖、また、条件のいいときには知床連山が見渡すことができる、隠れた名スポット「オホーツクの森」展望台の眺望を見ていただきました。この日は、残念ながら知床連山はよく見えませんが、天候も良くその他の風景は絶景でした。参加者からは、「いい景色ですね。網走市も見えるんですね。」とか「能取湖や網走湖がよく見えて感動した。」など感想をいただきました。

次に、「オホーツクの森」の「古の森」遊歩道を案内しました。バスを止めた駐車場近辺は、大正時代に山火事があり、その再生林で白樺が多く更新し大きくなっていることから「しらかば十字園」と呼ばれており、その廻りにはハルニレの「林木遺伝資源保存林」として保護されてきた森林が広がります。

この遊歩道で、森林散策を行い原生林を思わせる巨樹・巨木や動植物の話をしながら道東、オホーツクの森林についての理解を深めていただきました。

その後、卯原内ダム、アッケシソウ(サンゴ草)群生地まで案内し日程を終えました。



サンゴ草群生地

常呂川森林ふれあい推進センター  
[http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa\\_fc/index.html](http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/index.html)  
〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11の3  
【TEL】0157-23-2960【FAX】0157-26-2144

